

Lesson 1 Pictograms

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①身近にあるピクトグラムを知ろうとする。 ②国や地域によって違うピクトグラムを知ろうとする。 ③日本発祥のピクトグラムを知ろうとする。 ●ピクトグラムの意味やその背景にある歴史や文化を理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①自分や他者のことについて、SVC/SVOの文型の英文で言うことができる。 ②自分や他者のことについて、SV0(0=if節)の文型の英文で言うことができる。 ③ある人やものの様子・状態について、SVC(G=分詞)の文型の英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①自分や他者のことについて、SVC/SVOの文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者のことについて、SV0(0=if節)の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものの様子・状態について、SVC(G=分詞)の文型を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●ピクトグラムの特徴について、説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ふだん目にするピクトグラムに関する英文を聞き、どのようなものがあるのかを聞き取ることができる。 ②色々な国や地域のピクトグラムに関する英文を聞き、その具体例を聞き取ることができる。 ③日本発祥のピクトグラムに関する英文を聞き、いつからどのようなものが使用されるようになったかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の英文2つを聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ふだん目にするピクトグラムに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②色々な国や地域のピクトグラムに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③日本発祥のピクトグラムに関する英文を読み、短い要約文にまとめることができる。 ●主語と述語動詞に注意を払いながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ふだん目にするピクトグラムについて、自分の考えを述べるができる。 ●ある国や地域にのみ存在するピクトグラムについて、さらに深く調べようとする。 ●日本発祥のピクトグラムをほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①海にプラスチックごみの問題があることについて知ろうとする。 ②スラットさんが考案した海のごみ回収の仕組みを理解しようとする。 ③スラットさんが大切にしているチャレンジ精神について、自分に置き換えて考えをまとめようとする。 ●海の問題について知り、身近な環境問題について自分にできることを考える。
表現の能力	話すこと	①ある人やものの様子・状態について、SV0i02 (02=that/what節) の文型の英文で言うことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SV0i02 (02=if節) の文型の英文で言うことができる。 ③ある出来事について、it seems that～を用いて言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものの様子・状態について、SV0i02 (02=that/what節) の文型を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものの様子・状態について、SV0i02 (02=if節) の文型を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③ある出来事について、it seems that～を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●身近な環境問題について説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①海のプラスチックごみに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ②スラットさんが考案した海のごみ回収の仕組みに関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ③スラットさんが大切にしているチャレンジ精神に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①海のプラスチックごみに関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ②スラットさんが考案した海のごみ回収の仕組みに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③スラットさんが大切にしているチャレンジ精神に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●あらかじめ引かれてある斜線(スラッシュ)ごとに意味を確かめながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●身近な環境問題について、自分の考えを述べるすることができる。 ●リサイクル可能なごみの回収・活用方法について、さらに深く調べようとする。 ●海の問題について、ほかにも調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Activity Corner 1

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●聞き直す表現、望む表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●対話を暗記してスキットをすることができる。 ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、聞き直したり、何かを望んだりする表現を使い対話を作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、自分の行きたい所について話す対話を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●行ったことがある所や行きたい所についての対話を聞き、その内容に合うものを表にまとめることができる。 ●明とケイトの対話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●聞き直す表現や望む表現を意識しながら、明とケイトの対話を読み、その内容を理解することができる。

Lesson 3 Cuba

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①キューバの歴史や文化について知ろうとする。 ②キューバの教育制度について知ろうとする。 ③キューバの医療制度や人々の考え方を理解しようとする。 ●キューバの文化や社会の特徴について知り、その優れた点や、日本との類似点・相違点を考えさせる。
表現の能力	話すこと	①ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... to不定詞〉や〈It is ... That節〉の構文で言うことができる。 ②自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈to不定詞〉の構文を使って言うことができる。 ③自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈that節〉の構文を使って言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある行為の難易度や興味深さ、重要性などについて、〈It is ... to不定詞〉や〈It is ... That節〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈to不定詞〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③自分や他者がわかったこと、思ったことについて、形式目的語〈that節〉の構文を使い、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●キューバの特徴的な点について説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①キューバの歴史や文化に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ②キューバの教育制度に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ③キューバの医療制度や人々の考え方に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①キューバの歴史や文化に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②キューバの教育制度に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をすることができる。 ③キューバの医療制度や人々の考え方に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●主題文と支持文に注意を払いながら英文を読み進め、筆者の主張とその根拠をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●キューバ社会のあり方について、自分の考えを述べるができる。 ●キューバの歴史や文化について、さらに深く調べようとする。 ●キューバの特徴的な点について、ほかにも調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 4 The World's Poorest President

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ムヒカ氏がスピーチで述べた問題提起の内容を理解しようとする。 ②ムヒカ氏がどのような経緯を経て大統領になったのかを理解しようとする。 ③ムヒカ氏の暮らしぶり、その背後にある考え方を理解しようとする。 ④ムヒカ氏の幸福に対する考え方を理解しようとする。 ●ムヒカ氏の考え方を知り、現代社会における経済と幸福の関係について考えようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものの動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+O+C [動詞の原形]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ②ある人やものがされたことがらについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ③ある人やものを、ある様子・状態にすることについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を含む英文で言うことができる。 ④ある人やものが、あることをするのを助けることについて、〈help+O+動詞の原形〉の構文を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものの動きを見聞きしたことがらについて、〈S+V+O+C [動詞の原形]〉の構文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②ある人やものがされたことがらについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③ある人やものを、ある様子・状態にすることについて、〈S+V+O+C [過去分詞]〉の構文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ④ある人やものが、あることをするのを助けることについて、〈help+O+動詞の原形〉の構文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●自分が幸福を感じるのはどのようなときか、またその理由を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ムヒカ氏がスピーチで述べた問題提起の英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ②ムヒカ氏が大統領になった経緯に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ③ムヒカ氏の暮らしぶりとその背後にある考え方に関する英文を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ④ムヒカ氏の幸福に対する考え方を聞き、その概要を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ムヒカ氏がスピーチで述べた問題提起の英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②ムヒカ氏が大統領になった経緯に関する英文を読み、その要約文を書かれてある順番に並べかえることができる。 ③ムヒカ氏の暮らしぶりとその背後にある考え方に関する英文を読み、友人同士でその内容についての対話をするすることができる。 ④ムヒカ氏の幸福に対する考え方を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●文章の主題やそれに関わるキーワードを探しながら、英文を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ムヒカ氏の発言や考え方について、そのほかに調べようとする。 ●幸福とは何かについて述べた、ムヒカ氏以外の人の発言を調べようとする。 ●ウルグアイという国について調べようとする。 ●ムヒカ氏の考え方について、自分の考えを述べることができる。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Activity Corner 2

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●助言したり、話題を発展させたりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチを暗記して発表をすることができる。 ●教科書に掲載されているスピーチを参考にしてスピーチを作り、発表することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして、助言したり、話題を発展させたりするスピーチを作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、紹介したい場所に関して助言し、話題を発展させる文章を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●おすすめの場所を紹介するスピーチを聞き、その内容に合うものを表にまとめることができる。 ●祐介のスピーチを聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●助言したり、話題を発展させたりする表現を意識しながら、祐介のスピーチを読み、その内容を理解することができる。

Reading 1 The Open Window

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●まとまった文章を、物語の展開を理解しながら読もうとする。 ●ナトル氏とサプルトン夫人の姪の会話から、話の展開について推測しようとする。 ●既習の文型・文法事項を活用して、物語の内容をとらえようとする。 ●読み取った内容を、スキットなどで実際に表現しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物がだれであるか、説明することができる。 ●物語の一部分についての質問に対して、英語で答えることができる。 ●物語をいくつかの部分に分け、スキットで演じることができる。 ●物語の感想を英語で簡単に言うことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分について、文章をト書き風書き直すことができる。 ●行方不明であるはずの3人の姿を見たときのナトル氏の気持ちを想像して、セリフ風に書くことができる。 ●サプルトン夫人の姪が創作した2つの話の内容を確認し、それぞれの内容について文章を書くことができる。 ●物語の感想や印象に残った文について、まとまった内容の文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分を聞き、話の展開の概要を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●代名詞などに注意を払いながら物語を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●できごとを示した英文を読んで、それらを起こった順番に並べかえることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。 ●登場人物になったつもりで、感情を込めて音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ●イギリスの田園地帯での生活文化について調べようとする。 ●既習の文型・文法を使った文章を読みこなすことができる。

Lesson 5 Eye Contact

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①デフリンピックとは何かを推測しようとする。 ②日本のチームにはどのような選手がいたのかを知ろうとする。 ③デフリンピックでの試合はどのようなものだったのかを理解しようとする。 ④なぜアイコンタクトが必要なのか、自分のことばでまとめようとする。 ●デフリンピックやろう者サッカーの選手たちを通して、アイコンタクトの大切さを理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①ある人やものについての説明を、関係代名詞(主格)で言うことができる。 ②あるものに説明を加えるとき、前置詞＋関係代名詞を含む英文で言うことができる。 ③あるものに補足的に説明を加えるとき、関係代名詞の非制限用法を含む英文で言うことができる。 ④ある場所について補足的に説明を加えるとき、関係副詞の非制限用法を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①ある人やものについての説明を、関係代名詞(主格)を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②あるものに説明を加えるとき、前置詞＋関係代名詞を含む英文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③あるものに補足的に説明を加えるとき、関係代名詞の非制限用法を含む英文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ④ある場所について補足的に説明を加えるとき、関係副詞の非制限用法の英文を使い、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●よく使われるジェスチャーについて、どのような状況でどのように使うかを説明する文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①デフリンピックとろう者サッカーに関する英文を聞き、どのようなものかを聞き取ることができる。 ②ろう者サッカーの日本の女子チームに関する英文を聞き、どのような選手がいるのかを聞き取ることができる。 ③デフリンピックの試合に関する英文を聞き、日本チームの結果と選手の感想について聞き取ることができる。 ④選手がアイコンタクトについて述べている英文を聞き、なぜアイコンタクトが重要なのかを聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①デフリンピックとろう者サッカーに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②ろう者サッカーの日本の女子チームに関する英文を読み、どのような選手がいるのかを、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③デフリンピックの試合に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ④選手がアイコンタクトについて述べている英文を読み、友人同士でその内容についての対話をすることができる。 ●各段落の最初の文を読み、おおまかな内容をつかむことができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●ろう者サッカーと通常のサッカーのルールの違いについて、さらに調べようとする。 ●アイコンタクトの重要性について、自分の考えを述べることができる。 ●アイコンタクト以外に重要なコミュニケーション方法は何か、調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 6 A Space Elevator

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要を知ろうとする。 ②宇宙エレベーターの仕組みを理解しようとする。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術を知ろうとする。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点を知ろうとする。 ●図などを参考にして、宇宙エレベーターのもつ複雑な仕組みを理解しようとする。
表現の能力	話すこと	①現在まで継続している状態などについて、現在完了形で言うことができる。 ②現在まで継続している動作などについて、現在完了進行形で言うことができる。 ③過去のある時点まで継続していた動作などについて、過去完了進行形で言うことができる。 ④未来のある時点で進行していると予想される動作などについて、未来進行形で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①現在完了形を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②現在完了進行形を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③過去完了進行形を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ④未来進行形を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●宇宙で行ってみたい天体について、その理由を簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要を聞き取ることができる。 ②宇宙エレベーターの仕組みを聞き取ることができる。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術を聞き取ることができる。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①ロケットのもつ問題点と宇宙エレベーターの概要に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②宇宙エレベーターの仕組みに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ③宇宙エレベーターを支える科学技術に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ④宇宙エレベーターを建設する際の課題と利点に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●提示された話題を受けて話がすすんでいくことを確認しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●宇宙エレベーターの建設について、自分の考えを述べることができる。 ●宇宙エレベーターの仕組みについて、さらに深く調べようとする。 ●宇宙旅行を可能にする方法について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Activity Corner 3

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●仮定したり、驚いたりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●対話を暗記してスキットをすることができる。 ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして作った対話を基に、スキットをすることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているダイアログを参考にして、仮定したり、驚いたりする表現を使った対話を作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、効果的な学習の仕方について自分の意見を述べる文章を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●好きな映画のジャンルについての対話を聞き、その内容に合うものを表にまとめることができる。 ●美沙とビマルの対話を聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●仮定したり、驚いたりする表現を意識しながら、美沙とビマルの対話を読むことができる。

Lesson 7 An Encouraging Song

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことを知ろうとする。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由を推測しようとする。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているか理解しようとする。 ④『負けないで』がもつ力について、事例を踏まえて自分のことばでまとめようとする。 ●『負けないで』の歌詞に触れ、目的に応じたことばを選択する態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①推量を含む現在のことがらについて助動詞mayを含む英文で言うことができる。 ②推量を含む過去のことがらについて<may+have+過去分詞>を含む英文で言うことができる。 ③<would like to+動詞の原形>を用いて、丁寧さなどを示す表現を英文で言うことができる。 ④推定を含む過去のことがらについて<seem to have+過去分詞>を含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答をしたり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①助動詞mayを使ってを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②<may have+過去分詞>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③<would like to+動詞の原形>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④分詞構文を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●自分にとって元気の出る曲について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことを聞き取ることができる。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由を聞き取ることができる。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているかを聞き取ることができる。 ④『負けないで』がもつ力についての事例を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①『負けないで』がさまざまな場面で人々を元気づけてきたことに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ②坂井泉水さんが歌詞にこだわった理由に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③『負けないで』に込められた思いが何に表れているかに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ④『負けないで』がもつ力についての事例に関する英文を読み、その内容を表す図を順番に並べかえることができる。 ●固有名詞に注意しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●『負けないで』の歌詞について、自分の考えを述べることができる。 ●人々を励ますことばの違いについて、さらに深く調べようとする。 ●さまざまな時代で人々の心をとらえた歌について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 8 Language Contacts

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因を知ろうとする。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴を知り、それについての人々の思いを理解しようとする。 ③言語接触のさらなる例を通じて、その普遍性や役割、移り変わりを理解しようとする。 ④日本語や英語にも言語接触があることを知り、理想的な言語接触の姿について自分のことばでまとめようとする。 ●さまざまな言語接触の例を通じて、言語の特徴やそのとらえ方についての知識や態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①現在の事実と反することがらなどを仮定法過去で言うことができる。 ②過去の事実と反することがらを仮定法過去完了で言うことができる。 ③仮定法の条件節に相当する内容を、ifを使わないで言うことができる。 ④譲歩を含む内容を<no matter+疑問詞>を使って言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①仮定法過去を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②仮定法過去完了を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③仮定法の条件節に相当する内容をifを使わないで説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④<no matter+疑問詞>を使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●ある外来語の起源について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因を聞き取ることができる。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴を知り、それについての人々の思いを聞き取ることができる。 ③言語接触のさらなる例を聞き取ることができる。 ④日本語や英語にも言語接触があることを知り、理想的な言語接触の姿について聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①小笠原諸島が東洋のガラパゴスと呼ばれるようになった地歴的要因に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②小笠原諸島で使われている言語の特徴とそれについての人々の思いに関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ③言語接触のさらなる例に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ④日本語や英語における言語接触の例と理想的な言語接触の姿に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●代名詞や指示語が指し示す語句に注意を払いながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●言語の価値について、自分の考えを述べることができる。 ●言語接触により生まれた言語について、さらに深く調べようとする。 ●人々の移動がもたらす社会の変化について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Activity Corner 4

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●アイコンタクトをとり、相手に伝わる声で話そうとする。 ●報告したり、要約したりする表現を使おうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチを暗記して発表をすることができる。 ●教科書に掲載されているスピーチを参考にしてスピーチを作り、発表することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書に掲載されているスピーチを参考にして、報告したり、要約したりするスピーチを作ることができる。 ●与えられた表現を参考にして、調査の結果を要約して報告する文章を作ることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●ドイツでのホームステイで知ったことを報告するスピーチを聞き、その内容に合うものを表にまとめることができる。 ●志保のスピーチを聞いて、場面とその内容を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●報告したり、要約したりする表現を意識しながら、志保のスピーチを読み、その内容を理解することができる。

Lesson 9 Charles Chaplin

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちについて知ろうとする。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかを理解しようとする。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯を理解しようとする。 ④チャップリンが映画で演じた役を通じて訴えたかったことについて自分のことばでまとめようとする。 ●チャップリンの生涯に触れ、社会的弱者の視点からもものごとを考える態度を身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①2つのことが同時に起こっている状態について、分詞構文で言うことができる。 ②受け身の内容をもつことがらを過去分詞で始まる分詞構文で言うことができる。 ③主節の述語動詞よりも以前のことがらを<having+過去分詞>の分詞構文で言うことができる。 ④2つのことが同時に起こっている状態について、withを含む英文で言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①分詞構文を使って付帯状況を説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ②分詞構文を使って受け身の内容を説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ③分詞構文を使って主節の述語動詞よりも以前のことがらを説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ④付帯状況のwithを使って説明し、まとめた内容の文章を書くことができる。 ●好きな俳優について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちを聞き取ることができる。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかを聞き取ることができる。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯を聞き取ることができる。 ④チャップリンが映画の中で演じた役を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①喜劇王と呼ばれたチャップリンの生い立ちに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②青年時代のチャップリンが自分の人生をどうとらえていたかに関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ③「小さな放浪者」が生まれた経緯に関する英文を読み、その内容について友人同士で対話することができる。 ④チャップリンが映画の中で演じた役に関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ●時を示す語句に注意を払いながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝えるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●付帯状況の表現方法について、さらに深く調べようとする。 ●チャップリンの人生観について、自分の考えを述べることができる。 ●チャップリンの作品について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji

観点		評価基準
関心・意欲・態度		①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由を推測しようとする。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかを理解しようとする。 ③現代にも通用する、五重塔の構造を理解しようとする。 ④建築物の東洋的な設計思想を知り、その技術を継承する必要性を理解しようとする。 ●五重塔の構造上の特徴に触れ、自然との向き合い方のいくつかを身につけようとする。
表現の能力	話すこと	①ある名詞と同格の内容をもつ節をthatを含む英文で言うことができる。 ②ある語句を強調するために、倒置を含む英文を言うことができる。 ③同じことばのくり返しを避けるために、省略を含む英文を言うことができる。 ④ある語句を強調するために、強調構文を含む英文を言うことができる。 ●本課の内容について、英問英答したり、知り得た情報を英語で言ったりすることができる。
	書くこと	①同格を表すthatを使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ②倒置を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ③省略を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ④強調構文を使って説明し、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●海外の人に紹介したい日本の建物について簡単に書くことができる。
理解の能力	聞くこと	①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由を聞き取ることができる。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかを聞き取ることができる。 ③五重塔の構造を聞き取ることができる。 ④建築物の東洋的な設計思想とその技術を継承する必要性を聞き取ることができる。 ●この課で最も強く言おうとしている最後の段落を聞き取り、日本語で説明することができる。
	読むこと	①法隆寺の五重塔が地震などに強い理由に関する英文を読み、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ②地震の際、五重塔がどのように揺れるのかに関する英文を読み、その内容を平易な表にまとめることができる。 ③五重塔の構造に関する英文を読み、その内容を特徴ごとに短い要約文にまとめることができる。 ④建築物の東洋的な設計思想とその技術を継承する必要性に関する英文を読み、東洋的発想と西洋的思想についての文を分類することができる。 ●文脈などを活用して未知語の意味を推測しながら、英文を読み進めることができる。 ●意味のまとまりを意識しながら、相手に伝わるように音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		●自然との向き合い方について、自分の考えを述べることができる。 ●宮大工について、さらに深く調べようとする。 ●現在でも使われている伝統的な技術について、ほかに調べようとする。 ●この課のリーディング・スキルを活用しようとする。

Reading 2 A Letter to Italy

観点		評価基準
関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ●まとまった文章を、物語の展開を理解しながら読もうとする。 ●登場人物の心情や人間関係を理解しながら読もうとする。 ●「コミュニケーション英語II」を通して学んだ文型・文法事項を活用して、物語の内容をとらえようとする。 ●読み取った内容を、スキットなどで実際に表現しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物がだれであるか、説明することができる。 ●物語の一部分についての質問に対して、英語で答えることができる。 ●物語をいくつかの部分に分け、スキットで演じることができる。 ●物語の感想を英語で簡単に言うことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分について、文章をト書き風書き直すことができる。 ●Rosettaに手紙を書いた日のAngeloの気持ちを日記風を書くことができる。 ●物語の感想や印象に残った文について、まとまった内容の文章を書くことができる。 ●物語の最後の部分を自分なりに展開させて、まとまった内容の文章を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ●物語の一部分を聞き、話の展開の概要を日本語で説明することができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ●代名詞などに注意を払いながら物語を読み進め、その内容をとらえることができる。 ●物語を読んで、その内容を短い要約文にまとめることができる。 ●物語を読んで、その内容の真偽を区別したり、友人同士で対話することができる。 ●登場人物になったつもりで、感情をこめて音読することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ●1950年代のオーストラリアの社会状況について、さらに深く調べようとする。 ●結婚相手を決める行為について、ほかに調べようとする。 ●既習の文型・文法を使った文章を読みこなすことができる。